福岡県
志免町議会
しめ議会だより
令和3年
(2021)
5月1日発行
No.97

3月定例会
令和3年度 一般会計当初予算 …… 2～5P
しめまち委員会レポート …… 8～10P
ズバリ町政を問う！ …… 11～17P

志免町っていいね！

志免68

「ムリなく楽しく、大人が本気で遊ぶ」をモットーに今から7年前に出来た商店主を中心としたグループです。

活動としては、志免町を貫く県道68号線と国の重要文化財「旧志免鉱業所 竪坑櫓」をデザインした68Tシャツなどのグッズを販売しています。売上の一部は毎年竪坑櫓保存の為に寄付させて頂いています。

また竪坑櫓の前で行う「タテコウヤグライブ」や68グッズを着用して飲食や買い物をすると特典を受けられる「68week」、町内の小学4年生に68ロゴに塗り絵をしてもらい展示する「68塗り絵プロジェクト」等のイベントを企画開催しています。

町の発展に貢献してきた先人達への敬意を込めて、これからも自分達が楽しいと思う事を続け更に活気ある町になればいいなと思います。

（志免68代表　水野孝生）

68塗り絵プロジェクト

タテコウヤグライブ

68グッズ

編集後記

開催日　3月26,30日
4月7,14,19日

写真を撮ろうと歩いていると、入学の記念に写真を撮っている親子に出会い、快く撮影にご協力していただきました。

お母さんは恥ずかしかったのかご遠慮されましたが、ポーズをとる子ども達を眺めているお顔が印象的でした。

議会広報特別委員会

お知らせ
お気軽に傍聴にお越しください。

次回の定例会は
6月4日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しください。
手話通訳（要申込み）、車椅子席もあります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262　FAX 935-7070
議会事務局は町役場4階です。
メールアドレス　gikai@town.shime.lg.jp

議会広報特別委員会

委員長	亀崎　大介	委員	大西　勇
副委員長	岩下　多絵		大熊　則雄
発行責任者	丸山 真智子		小森　弘美
			稲永　隆義

しめ議会だより №97
●発　行　福岡県志免町議会
●編　集　議会広報特別委員会（〒811-2292 福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1-1）
●発行日　令和3年5月1日　●印　刷　株式会社三光

UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C086357
VEGETABLE OIL INK

3月定例会

3月定例会は、5日から23日の19日間の会期で開かれました。
議案23件を可決。人事案件1件に同意しました。
一般質問は3月8日、9日の2日間で6人が行いました。

令和3年度 一般会計当初予算

賛成多数 可決

総額 155億4,000万円

賛成 11　反対 2

主な歳入

町民税

個人　21億9,061万円(現年課税分)　コロナによる減収見込み額 1億1,000万円減

法人　3億5,598万円(現年課税分)　1億3,200万円減

固定資産税

23億5,433万円(現年課税分)　1億3,100万円減

土地:地価上昇のため増収見込みであったが、特別措置として前年度の税額が据え置きされたため
家屋、償却資産:中小企業等への軽減措置により減額となるが、減額分は全額国費で補填される

主な歳出

ワクチン接種はじまる!?

3億1,026万円(全額国の負担)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、感染予防を実施するため

委員会

混乱が起きないよう医療機関、集団接種請負業者との密な調整を行うこと。
在宅介護の高齢者等に対する接種方法の検討等、万全を期するよう要請した。

弓道場建設

2,268万円(志免町おうえん基金より繰入れ)

3年をかけて弓道場を建設するための造成工事費用

委員会での質疑

黒田藩の松茸栽培地ではないかとの指摘もあるため、文化的検証を行うこと。
また、少人数の団体へ特化する施設であるため町民の理解が得られるように配慮すること。
弓道場周辺の安全確保を要請した。

望山荘解体

4,081万円

平成30年10月に閉館した、志免町高齢者福祉センター望山荘を防災、防犯のため解体するもの

解体される望山荘

西小学校プール・窓枠工事

3,679万円

プールの長寿命化を図るための塗装工事 1,332万円
窓枠改修工事……2,347万円

南小プール(改修前)

南小プール(改修後)

委員会

令和3年度から始まる東小学校のプール授業民間委託610万円の結果を精査して、少人数学級、学童など様々な問題に対応するために西小学校においてもプールの民間委託などを検討し、敷地の有効活用をするよう要請した。

窓を開けないようテープで注意喚起

PayPayポイント最大20%戻ってくる

3,000万円(志免町おうえん基金より繰入れ)

令和3年8月1日から令和3年8月31日まで、志免町内の加盟店(大手チェーン店を除く)で、PayPayで支払うとポイント(期限なし)が還元される
付与上限は、1回1,000円、期間中1万円

委員会

費用対効果の検証を行い、報告するように要請した。

不妊治療支援

300万円

保険適用外の人工授精に要する費用の2分の1(上限5万円/組)を助成することにより、不妊治療を行う夫婦(事実婚を含む)の経済的負担の軽減を図る

水鉛公民館用地購入

1,230万円

大幅に世帯数が増加し、現在の施設では公民館運営に支障が出ているため

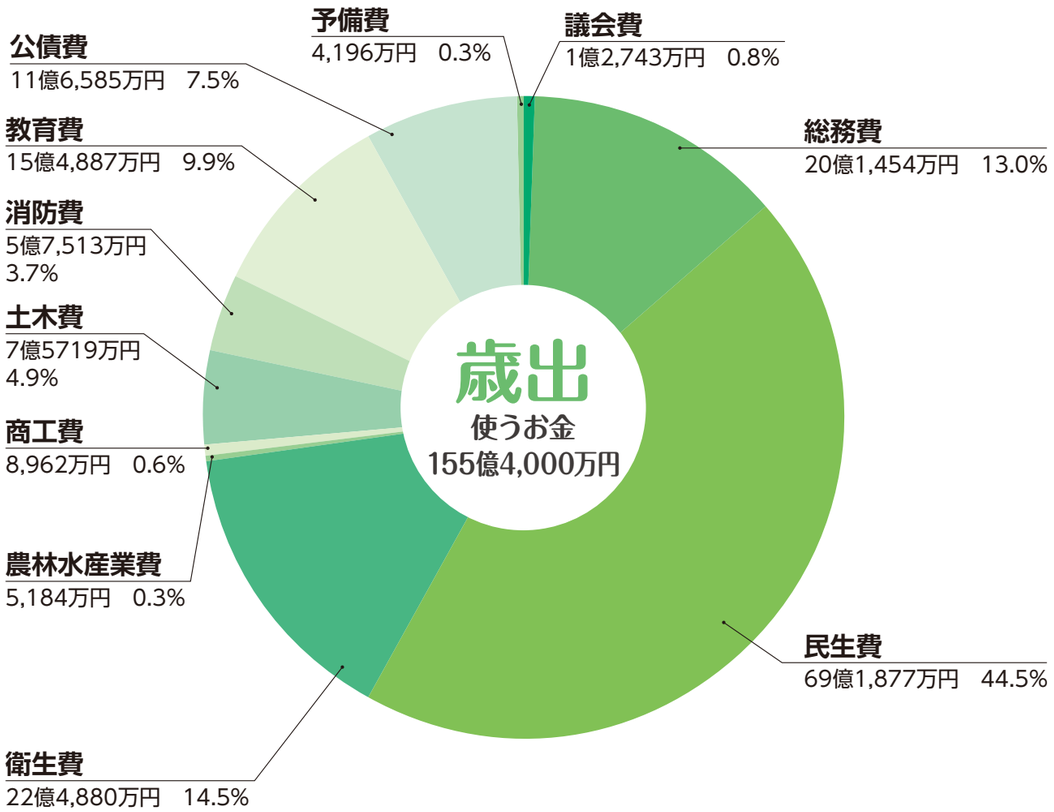
混雑した水鉛公民館の玄関

一般会計当初予算への反対討論(末藤)

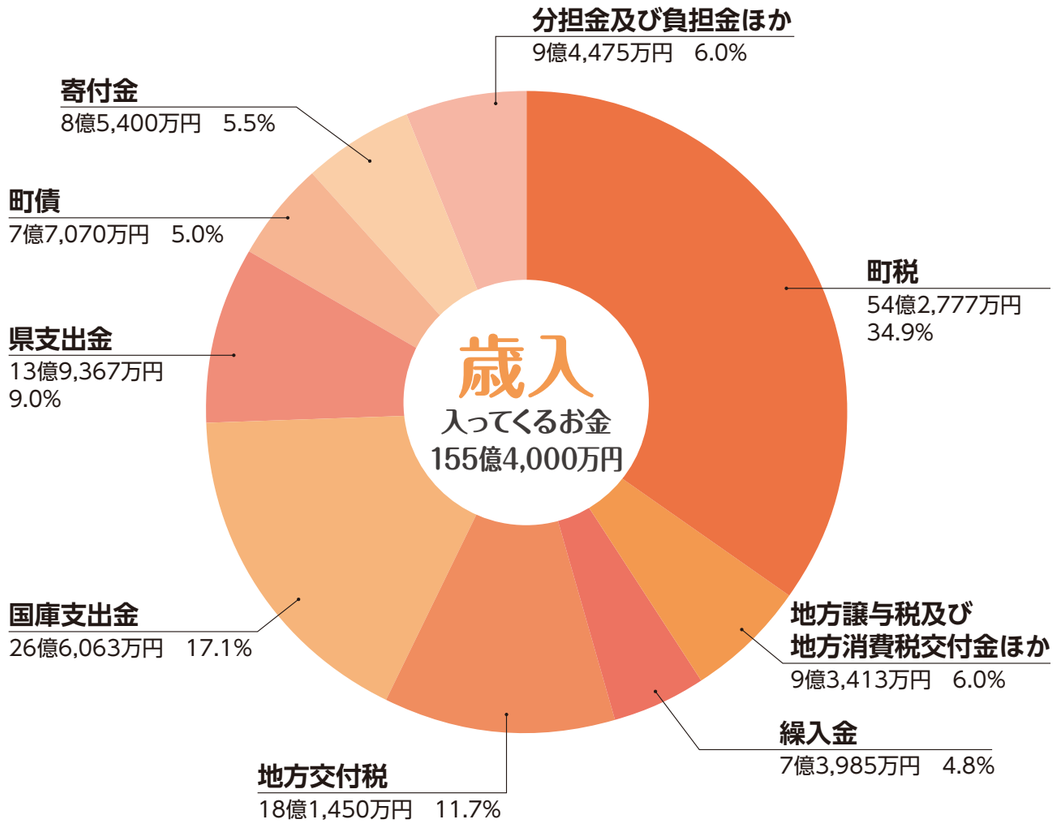
コロナ禍の中、住民の暮らしは疲弊しきっている。今回上がっている弓道場建設などが、今やるべきことか。住民の暮らしの実態に目を向けるべきであることを指摘し反対する。

3月
定例会

令和3年度　一般会　計当初予算
総額 155億 4,000万円



区　分	対前年度伸び率	説　　明
議会費	3.8%	議会活動に要する経費
総務費	8.9%	人事、企画、財政や他部門に分類されない事業
民生費	−5.1%	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、国民年金などの事業
衛生費	14.5%	母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業
農林水産業費	−37.7%	農業振興などの事業
商工費	69.4%	商工業振興などの事業
土木費	9.3%	道路整備などの事業
消防費	0.2%	消防、防災事業など
教育費	−8.9%	学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業
公債費	3.3%	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の借入利息



区　分	対前年度伸び率	説　　明
町税	−2.1%	町民税・固定資産税等
地方譲与税及び地方消費税交付金ほか	−13.9%	地方消費税交付金等
繰入金	5.1%	財政調整基金、おうえん基金等から
地方交付税	−0.2%	地方公共団体の財源不足や団体間の財政不均衡を是正し、その事務を遂行できるよう国から地方公共団体へ交付されるお金
国庫支出金	1.4%	国が地方公共団体に対して、特定の事業を推進する目的で使途を指定して交付するお金
県支出金	−9.1%	県が使途を指定して交付するお金
町債	36.8%	町の借金(臨時財政対策債7億円を含む)
寄付金	29.8%	ふるさと納税等
分担金及び負担金ほか	−2.3%	受益者負担金等

特別会計

公共施設公益施設整備拡充基金 …… 7,517万円 全員賛成 可決

国民健康保険 …… 41億5,060万円 全員賛成 可決

住宅新築資金等貸付事業 …… 1,240万円 全員賛成 可決

後期高齢者医療 …… 6億4,783万円 全員賛成 可決

公営企業会計

水道事業
- 収益 …… 10億9,606万円
- 費用 …… 9億2,450万円

全員賛成 可決

下水道事業
- 収益 …… 11億5,494万円
- 費用 …… 10億9,085万円

全員賛成 可決

令和2年度 一般会計補正予算

新型コロナによる影響で当初予定の事業が大幅に縮減されたことによる減額が大部分 全員賛成 可決

3億8,832万円の減額 総額210億4,249万円

主な歳入

町税（法人町民税他） 減額 …… 1億230万円減

新型コロナによる影響により減収が見込まれるため

主な歳出

がん検診等事業 減額 …… 1,158万円減

新型コロナによる影響で検診者が減ったため

子ども予防接種委託料 減額 …… 1,840万円減

新型コロナによる影響で接種者が減ったため

ごみ収集委託料 減額 …… 730万円減

新型コロナによる影響で事業用のごみの量が減ったため

条例・主な議案

町長、副町長の給与減額 4月、5月の給与を10%減

賛成多数 可決

志免町長及び副町長の給与月額の減額に関する条例

上下水道課において、ゆうちょ銀行の口座を利用されている方の口座振替事務ミスが発生し、1月25日引き落とし予定の2,003件分が引き落とされなかった。このことにより、関係者の方々に多大な迷惑をかけ、町の信用を傷つけたため2ヶ月10%の減給を申し出られたもの。

反対討論　古庄議員

副町長は懲罰委員長の立場での減給との事だが、委員会処理上で非があったのならば理解するが、自治体組織の最高責任者は町長であり、この減給で責任は十分果たしている。副町長まで減給する意味も必然性なく、悪しき前例となる。

反対討論　大西議員

委員長報告からすると、トップである町長の減額ならいざ知らず副町長が懲戒審査委員長としての責任を感じてとある。であるならばこれからも町長が減額を申し出るたびに委員長として責任を取るのか、取らなければならないのか、責任はトップだけでいいのではないか。この件については各論反対総論賛成とはいかず反対とする。

賛成者　牛房、丸山(卓)、藤瀬、小森、亀崎、岩下、稲永

反対者　古庄、大西、大熊、安河内、木村

新しい4学童保育所開設 学童保育所の待機児童ゼロへ

全員賛成 可決

志免町学童保育事業実施に関する条例の一部を改正する条例の制定

令和3年4月1日から、志免中央第3学童保育所、志免中央第4学童保育所、志免東第2学童保育所、志免南第2学童保育所が開設される。これにより、令和3年度の学童保育所の待機児童ゼロが達成された。

議長不信任案

賛成少数 否決

動議提出者：古庄
動議賛成者：安河内

要望内容

議長のこの二年間の言動と議会運営によって、議会はプロポーザル入札問題対応他、予算の撤回削除、審査の停滞、行政への不信感他、混乱続きだ。過去の議長の言動を紐解くと執行部擁護に偏った言動で、中立公平を求められる議長としての資質に欠け、その都度の意見具申にも全く反省がなく、結果、チェック機関の責務を忘れ、行政に媚するような議会になりつつある姿に危機感を抱き、残り二年、議会運営を任せることは到底できない。

(無記名投票)

賛成者　3

反対者　9

意見書

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書

賛成少数 否決

提出者：末藤 省三

要望内容

多くの国が、核兵器のない世界の実現へ真剣に、誠実に努力しているもとで、アメリカの「核の傘」に安全保障を委ねている日本政府は、核兵器禁止条約に背を向け続けています。こうした態度をただちに改め、「唯一の戦争被爆国」として核兵器全面禁止のために真剣に努力する証として、核兵器禁止条約に参加・調印・批准することを強く求める。

賛成者　末藤、木村

反対者　古庄、大西、牛房、大熊、安河内、丸山(卓)、藤瀬、小森、亀崎、岩下、稲永

総務文教常任委員会 開催日 1月18日、2月26日、3月2日

みんないきいき　タブレット授業

ガンバレ…志免町のGIGAスクール構想

町と先生たちの努力で最高のスタート

志免町のGIGAスクール構想については、委員会として当初から大きな関心を持って注視してきた。担当課の努力もあり、小中学校のICT環境の整備は他の町より早く整備された。

委員会からはタブレット使用に関するガイドライン作成を要請した。

タブレット使用に関するガイドライン…2月17日から運用開始

主な内容は

1. 管理責任者は校長
2. コンピュータを校外に持ち出すことは原則禁止。管理責任者が許可した場合に限り、校外に持ち出し、家庭等で使用することができる。
3. 破損、紛失等の費用弁償について
故意による破損、紛失、盗難等の事故その他の理由で、コンピュータの全部又は一部が使用できなくなった場合、使用者は教育委員会が定める相当の代価を弁償しなければならない。ただし、教育委員会が特に必要と認めたときは、相当代価を減額し、又は免除することができる。

GIGAスクール構想の授業の視察について

2月26日、中央小学校の3年生のタブレット、電子黒板、書画カメラを使った国語の授業を視察した。

漢字の部首の授業で、子どもたちは各自のタブレットをうまく操作して私達の視察が気にならないほど集中し、元気にそして楽しそうに勉強していた。

ICT機器を使用した授業はいままでとは隔世の感があり、無限の可能性を感じるとともに、ICT環境が整って日も浅いのにこれだけの授業をされ、先生方の努力と熱意に感銘した。

委員会からの提言

最高のスタートをした志免町のGIGAスクール構想にこれからも注目していく。

厚生建設常任委員会 開催日 1月21日、2月17日、3月2日

放置されたままの空き家

さらに前進！危険廃屋の解決へ

空き家の対策その後は

現在、志免町では「志免町危険廃屋等の管理に関する条例」を基に対応しているが、この問題は10年以上解決していない所もあり放置状態。

委員会

町としても取組む必要があるとの考えだったが、どうなっているのか。

町　長

空き家対策は担当課だけにとどまらず、町全体として意識を高めていかなければならない。職員が足りなければそこに増員してでも取り組む必要がある。早速、課長会議の中でも取り上げていくことを約束する。

委員会からの提言

「志免町危険廃屋等の管理に関する条例」と「空き家等対策の推進に関する特別措置法」との整合性を図り、条例改正を行い、国の補助金を活用した空き家対策総合支援事業を行うことが必要。

「志免町危険廃屋等の管理に関する条例」の最大の目的である「安全で快適に暮らせるまち」に基づいた防犯・防災の視点から町民の安心安全な暮らしの実現の観点からも、今後も注視していく。

予算常任委員会　開催日　2月19日、3月2日、19日、22日、23日

しめ広報ポスティング業者委託へ

大丈夫？コミュニティのあり方

業者による広報誌配布が5月から始まる。毎月1日から約5日間で配布する。

それに伴い、町内会への組長手当を廃止、今年度より「町内会活動交付金」として町内会一括交付となり、これまでの広報誌配布分の手当等は減額される。

委員会

交付金の使い方は町内会の判断になる。公平性への懸念、コミュニティのあり方、活動への支障が心配。

担当課

実績報告書等でチェックし、著しい事例は指導する。また、要綱の改定も行う。

入札のあり方

妥当なのか？プロポーザル方式

電子黒板の入札問題について昨年11月から4ヵ月にわたり審議し、問題点を指摘してきた。入札制度、特にプロポーザル方式については慎重を期すべきとの認識を深めた。

委員会

町民の血税をもって行われる物品購入に対し、不審や疑惑を持たれることがあってはならない。

今後の入札のあり方について、考えるべき。

町　長

プロポーザル方式の運用等について改善すべき点があり、マニュアルの修正が必要と考える。

委員会からの提言

マニュアルの改善を早急に行うこと。

今後のマニュアル改善を注視していく。

≪ズバリ≫町政を問う!

稲永 隆義 議員　12P
① 計画等の周知と共有に熱意を
② 計画的な町道の管理と保全を

牛房 良嗣 議員　13P
① 全国トップへ正念場令和3年

丸山 卓嗣 議員　14P
① 志免町単独で市を目指す考えは
② 学校施設開放・複合化の促進を

大西 勇 議員　15P
① ワクチン再接種助成制度導入を

小森 弘美 議員　16P
① 独り暮らしの高齢者の見守りは
② 若い世代に選ばれるまちに

末藤 省三 議員　17P
① 志免町の特別障害者手当の現状

- 一般質問とは議員が町政全般（一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など）について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。
  質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で※1問1答で行います。
  ※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法

- 会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。
  詳細は会議録（HP・図書館・各公民館に置く）をご参照ください。掲載は質問順としています。

計画等の周知と共有に熱意を

町長 町の将来像の共有は非常に大事

稲永 隆義 議員

稲永　志免町には総合計画を最高位として、多くの計画や条例がある。最高位の総合計画でさえ、「何、それ」とほとんどの人が知らない。

　総合計画を最高位とした各計画は、5年後、10年後の志免町が目指すべき姿と、それをどのように達成していくかを示すもので、行政のリーダーシップの根幹である。

　作成した計画が町民の皆さんと共有されず、ホコリにまみれていては行政のリーダーシップが問われると考えるが。

町長　町民の皆さん方に広く町の方向性を伝えることが大事。今後、役場の情報をいかに伝えるか研究しながら進めていく。

稲永　各計画書の配布後の活用は。

経営企画課長　職員は、計画書を基に全ての施策に取り組んでいる。

　今回の第6次総合計画では、小学生向け絵本版を作成する。

　一人一台端末を使って授業等で活用して頂けたらと考えている。

町が策定した様々な計画

計画的な町道の管理と保全を

町長 町道の維持管理はしっかり行う

稲永　最近、町道の傷みが大きくなっている。区画線の消えた所も多い。

　道路関連予算は類似団体比較及び近隣町と比較しても低い。計画的な保全と予算の増額が必要。

町長　これから先、いろんな道路整備に費用がかかるが、必要な補修はしっかり継続して進める。

稲永　町道の総延長は。

都市整備課長　約160キロ。

稲永　町道の点検方法は。

都市整備課長　全面的な定期パトロールを年3回実施。台風や大雨の前後には、幹線道路や河川、水路の隣接道路を重点的に点検。

稲永　補修が必要な町道は何キロ。

都市整備課長　路面性状調査に基づき損傷度大を補修必要町道とし、約10キロ。

稲永　1キロ当たりの舗装単価は。

都市整備課長　生活道路で約3600万円。幹線道路で約6000万円。

ひとくちメモ
※類似団体比較
各地方公共団体を人口と産業構造で分類し、財政状況等を、当該団体と同一類型の団体の平均と比較したもの。

全国トップへ正念場令和３年

町長 行政、学校一体となり取組む

牛房 良嗣 議員

牛房　令和2年12月実施の英語教育調査で志免町中学3年生の生徒は、国が掲げる到達目標英検3級レベル以上50％を突破し60・1％を達成。全国公立中学9，400校のトップグループに躍進する大金字塔を打ちたて、ミラクル・サプライズの大仕事をやってのけました。新しい歴史をつくった卒業生へ町をあげて感謝と拍手を贈りたい。「ありがとう」

　迎える令和3年度は1歩の後退も許されない志免町の真価の問われるとき。

　町長の新たな決意と対策は。

町長　令和3年度は正念場、学校現場と行政が一体となり目標達成へ取り組む。

教育長　英語力の向上が生徒の自信、学力向上へつながり教師たちも丁寧な指導が実り、更に充実した指導へと意欲が満ちあふれている。

学校教育課参事　令和3年度の英語力向上の対策は2点。1つは児童生徒全員に配置された端末機の有効活用しネイティブスピーカーの英語にふれる機会をふやす。もう1つは7月26日から7月29日の4日間各小学校で1日ずつイングリッシュサマーキャンプを開催し、子どもたちに英語や外国人とのふれあいの機会を目的とするもの。以上2点が新年度英語事業。

牛房　正念場の令和3年2点だけでは心配、もうひと押しが必要では。私からの3つの提言。1つ目は幼児の英語教育。18施設、2000人にALT1名の配置で巡回英語指導を。2つ目は中学英語教師に英検準1級の受験合格の支援を。先生の英語力向上は生徒の向上につながる。3つ目は小中英語学習の支援隊員10名を町民から募集し授業のお手伝い、夏休み春冬休みは町内会英語学習の講師に。

町長　中学校英語教師英検準1級受験合格へ助成を検討する。

教育長　英語教育支援隊が活用できたら現場の学校やサマーキャンプでの活用も考えたい。

牛房　「コロナは2年英語は一生」あとひと押しの一手が成否を左右する。

英語は一生　さらなる飛躍へ期待

志免町単独で市を目指す考えは

町長 現状単独で目指すことは難しい

丸山 卓嗣 議員

丸山 近隣との連携と言えば糟屋地区に話が向かうが、本来福岡市を考えるべきでは。福岡市の高島市長は「福岡市に限定することなく広域的に地域の発展を考えていく」との考え方を示されている。町長の考えは。

町長 現在、志免町と福岡市だけの連携はない。

丸山 具体的に都市高速や地下鉄の延伸その他様々考えられるが福岡市へのアプローチは。

町長 個別に福岡市とはない。近隣6町と福岡市との関係で連携を図りながら協議していく。

丸山 市町村合併について現在気運の高まりがないのが実情かと思う。町長の考えは。

町長 合併により人口10万人の都市を目指すべきという持論はある。現在話が全くでないのが現状。

丸山 私は単独で市を目指すべきだと考えている。具体的にはまず建ぺい率、高さ制限の緩和を行い定住化促進を。

町長 現状、定住化を促進しても単独で市を目指すことは難しい。

丸山 メリット・デメリットは。

町長 企業誘致には市の方がイメージがいい。単独では機運が高まればあり得ると思う。

学校施設開放・複合化の促進を

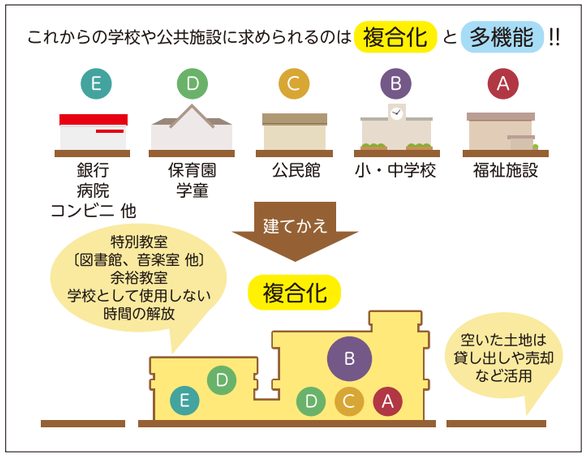
町長 開かれた学校の形を進めたい

丸山 これからは、学校教室や特別教室(音楽室、調理実習室、図書室)へも開放範囲を拡大しては。

町長 余裕教室が少なく難しい。図書館の地域開放は可能だと思う。

丸山 『学校複合化も魅力あるテーマだと感じている』複合化とは病院やコンビニ、銀行やスーパーなど、民間企業を含めた複合化を想定している。「夢」あるテーマであり、全国的にも注目される先進的な事例として、このプロジェクトを検討頂きたい。

町長 想定していなかったがさまざまな事例を含めて、地域に開かれた学校という形を進めていきたい。



学校を軸とした複合化により地域コミュニティの拠点施設に

ワクチン再接種助成制度導入を

町長 必要であり早急に協議する

大西 勇 議員

大西 コロナワクチンが注目されている中で、今回小児ワクチン予防接種の再接種について尋ねる。

これは小児がん治療のために骨髄移植を行った場合、定期予防接種で獲得した免疫が低下もしくは消失して感染症にかかりやすくなる。予防接種を受けた後、再度接種を受けなければ命をつなぐことができない。

この費用は全額自己負担であり家庭にとって大きな負担となっている。この事についてどう認識されているか。

町長 特定の疾患を患った時に、予防接種の効果が無く、再接種の必要があり相当の費用が掛かると言うことを今回の一般質問で勉強させていただいた。町もそういった事例は少ないかもしれないがそのような方たちに寄り添う町として取り組む必要があると思う。

大西 定期予防接種は公費負担となっているが、再接種は全額自己負担となっている。金額は。

健康課長 骨髄移植などを受ける年齢が高くなるほど接種してきたワクチンの種類が増え、再接種の数も多くなり、最大で30万円の自己負担となる。

大西 数年前子ども病院に行ったが、そこには大勢の子ども達ががん治療のため長期入院し、院内教室で勉強するという闘病生活をしており、決して他人事ではない。

昨年、県がこの助成制度を創設しておりその内容を尋ねる。

健康課長 再接種費用を助成する市町村に対してその経費の一部を補助する事業が開始されている。

大西 大事なことは町自体が助成制度を導入していれば県が補助をするということだ。早急にこの助成制度の導入を要望する。

町長 病気で苦しんでいる子どもたちと家庭の負担を考えるとこの制度は必要だと思っている。早急に協議する。

大西 一人の子どもも置き去りにしないという思いで難病や小児がんの子供達にも寄り添って救いの手をお願いしたい。

独り暮らしの高齢者の見守りは

町長 実情に合った見守りが必要

小森 弘美 議員

小森　コロナ禍により、認知症の増加、孤独死という最悪の事態も増加の傾向にある。緊急時の高齢者の安全確認の具体策は。

福祉課参事　緊急通報サービスで24時間対応している。又、人感センサーを導入し、18時間人の動きを感知しない場合、自動で連絡が入り安否確認を行っている。又県の「見守りネットふくおか」という事業があり、訪問する機会の多い事業者が異変を感じた時、市町村に通報する活動で、現在、19事業者と協定を締結している。

小森　第7期志免町高齢者福祉計画の中にも長期的な展望に立ったネットワークを強固にしながら、具体的な対策を準備していくことが必要とあるが具体的な考えは。

町長　残念ながら年に1人2人孤独死で亡くなる方がおられる。ネットワークを構築して色々なつながりを持つことが大事だと思う。先進地の事例も含めアンテナを高くし、今後孤独死がない状況をつくり上げたい。

例えば…最後にセンサーが反応したのが夕方４時だった場合

若い世代に選ばれるまちに

町長 今後対策等検討していきたい

小森　昨年10月、結婚新生活支援事業が拡充されることになった。志免町は、子育て世代に選ばれるまちをコンセプトに子育て支援にも取り組んでいるが、若い世代を応援することはとても重要である。若い世代を応援する町独自の支援策は考えているか。

町長　子どもを産み育てやすい、子どもに優しいまちづくりという意味で、保育事業や学童保育事業に力を入れている。新婚生活についての支援策は行っていない。

小森　新婚家庭を経済面からサポートすることは大きな意味がある。若い世代に選ばれるまちにしていくために、結婚新生活支援事業を活用してみては。

町長　子どもに優しいまちづくりの一環として注視し今後対策等を検討していきたい。

若い世代を応援する支援策を

志免町の特別障害者手当の現状

福祉課長 身体に著しく障害を有する者

末藤 省三 議員

末藤　志免町の特別障害者手当の現状はどのようになっているか。

福祉課長　特別障害者手当は、精神または身体に著しく重度の障害を有するため、日常生活において、常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上の特別障害者に対して支給されるもので、支給額は2万7350円で、所得限制がある。

末藤　これは国の制度で、介護保険の認定が重度の要介護4、5の人は障害者手帳がなくても受給できるとあるが。

福祉課長　あくまで身体障害者手帳の1、2級の異なる障害を重複している方とか、身体障害者手帳の障害及び重度知的障害を重複している方、他にいろんな疾患で生活に重大な支障を来している方々が該当する。

末藤　障害者手帳を持っていなくても申請できるか。

福祉課長　障害者手帳がなくても重度の障害、および介護を必要とする状況にあるという、医師の意見書等があれば、申請は可能。

末藤　障害者手帳がない人でも特別障害者手当が受けられるとの住民への周知は。

福祉課長　介護の認定とか障害者の手帳がなくても、重度の介護を要する状況ということが認められれば申請できる。

末藤　障害者の方の日常生活動作評価表はどのようにしてあるか。

福祉課長　特別障害者手当認定診断書の様式にそって、申請を受け付けている。

末藤　障害者手当が受けられることを住民の方々に知らせるべきと思うが。

福祉課長　介護の認定がでたら地域包括支援センターで要支援1、2の人にはケアプランを立てるが、要介護4、5については、外の事業所、居宅介護支援事業所の方でケアプランを立てるので、ケアマネジャーさんにこういった制度があるということを周知していく。

末藤　障害者の手当が申請すれば出ることを知らせるべきだ。

町長　住民の皆さんに制度を周知することが必要と考えている。

手帳の所持にかかわらず、制度の周知を